



TOKYO PACK 2022 展示・セミナー報告

包装関連4団体 集中展示「新時代パッケージここに集う！」

今回は集中展示のパネル内容の解説を掲載した冊子も希望者に配布しました。当会では「新時代を見据えた先端技術の活用 パッケージの新たな進化(革命)」と題して展示しました。

- NFCパッケージ : 接触型の自動認識技術のNFCタグを内蔵した紙器／非ラベルフリー化と画像認識技術について
- e-コマースの包装 : 環境配慮パッケージ、スマート包装(e-コマース対応梱包システム)／自動化3辺可変フルオートシステム
- インジケータの進化 : 医療用ケミカルインジケータ、賞味期限や使用期限の見える化／温度インジケータ(食品の鮮度や腐食へのインジケータ)
- オンデマンド印刷 : インクジェット式、レーザー式、サーマル印刷
- TA方式 : ダイレクトサーマル印字(サーマルインクをフィルムに塗工し、(サーモオートクローム方式) 加熱発色)／レーザーブランディング(レーザーで青果物に直接印字)

当会ブース展示「2030年包装の未来予測」

海外からの来訪者を含め、多くの方にお立ち寄りいただきました。パッケージは持続可能・循環型社会に適合するものとして、いつの時代も地域社会に Acceptableなレベルで生活者に寄り添っていききたい。そのために協働領域で必要となる機能・技術と競争領域で期待される機能・技術は何かを追求。次の7枚にまとめました。
1.パッケージを取り巻くメガトレンド／2.あるべき未来の街と暮らし／3.デジタルによる社会変革／4.Circular Economy／5.2030年プラスチックへの期待／6.2030年紙への期待／7.包装未来 2030 Acceptableな関係



写真1) 出展ブース



写真2) 出展ブース

新時代 TOKYO PACK セミナー 「Z世代が問う未来への課題～パッケージ、食品ロス～」

国立大学法人 東京農工大学のサークル「農工大プラごみ減らし隊」のみなさんが、プラスチックパッケージのリデュース・リサイクル、食品ロスをテーマに主張や意見を投げかけ、国立研究開発法人 国立環境研究所の稲葉陸太氏、ごみ清掃芸人のマシンガンズ滝沢秀一氏とともに議論を展開。パッケージの技術革新、提供や消費のスタイルの変革などの取り組みにより、パッケージのリデュースも実現することを考え続けていきたいと思えます。世代を超えて議論することの楽しさを実感したセミナーでした。



写真3) ディスカッションの様子